

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	グループホーム めぐみ		
サービス種別	認知症対応型共同生活介護		
所在地	横浜市港北区高田東3-33-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-542-2886
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年3月26日 16時15分 ～ 16時30分	場所	オンライン開催
----	---------------------------	----	---------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	欠席
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町東地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	日横クリニック 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	高田歯科医院 歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ひよこ訪問看護ステーション 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	インダ薬局 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	他法人 ケアマネジャー
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラ 主マネ
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラ 看護師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	樽町地域ケアプラ 保健師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	日吉本町地域ケアプラ 主マネ

4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおりに (裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

【事故について】

薬剤師：

服薬用に薬局にあった薬杯を提供したので、他の施設でも使えるようであれば声を掛けてください。
ゆい全体の考え方として小さな事故でも挙げていこうとしているのだと思う。
自宅にいても事故は防げない。
ただ一方で、職員の方のストレスについては留意することが必要だと思います。

医師：

2つの立場がある。
身体拘束をして動かないようにして介護する。人間として扱われなかったという例。東京の北区であった。
介護者が足りない。動かれると人手がかかるから拘束していた。

家で介護をしているとき、必ず転倒などが起きる。⇒ 介護施設だったら起きないのか？
1対1でできないことが1対多でできるのか？
介護施設に行くと転倒すると介護施設の責任になってしまう。
転倒の報告が増えているのは、細かいことで上がっているのだと思う。

課題は、対策をとった結果が良い結果になったのかどうかを検証して立証していく必要がある。
介護人材は不足している。昨年の改定で報酬を下げた。戦後最高につぶれている事業所が多い。
人手が足りないともみることできなくなってしまうという社会情勢を知ってほしい。

利用者も介護する人たちも被害を受けていると思う。
お互い同士が責任追及だけをやっていくとうまくいかない。相互理解が必要。
危機的な状況になっている。皆さんで考えていただきたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【事故について】

身体拘束はしないのが原則となっている。行動予測をしながらやらなければいけないという難しさがある。
家族と協力をしながら薬で行動を抑えるのではなく、活動的に過ごすなどの他の方法を考えている。
①薬の間違い、②動けない方の転落 の2つは絶対にさせてはいけないと思って取り組んでいる。
1月以降は服薬対策をしている。服薬事故については0になっている。
事故を防ぐための取り組みを来年度も続けていく。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(認知症対応型共同生活介護)

1. 基本情報

事業所名	グループホーム めぐみ		
所在地	横浜市港北区高田東3-33-3		
担当者	齋藤 南	連絡先	045-542-2886
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(2月 28日現在)	女性 6 名		男性 3名		計 9 名		
要介護度(平均3.6)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	名	2名	3名	0 名	4名

3. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 「その人らしく生きる」を支え、寄り添う介護を行う。
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・自立支援を促す環境作り 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域との関わる機会を設ける(自治会の防災訓練にご利用者様と参加) ・オープンガーデンに参加 【業務・職員について】 ・認知症ケアの知識・技術の向上 ・職員間の連携強化

4. 活動報告

○社内研修:

ジョブメドレーアカデミー(eラーニング)

12月 事故発生又は再発防止に関する研修

1月 ターミナルケアに関する研修

2月 医療に関する教育、研修

1月 虐待防止一斉点検の実施

○社外研修

1月～3月 認知症介護実践リーダー研修 管理者1名参加

○行事

12/24 クリスマス会

1/1 元旦

1/15 1月生まれお誕生日会

1/27 高田地域ケアプラザ 歌の会

1/31 初詣

2/3 節分

2/5 2月生まれお誕生日会

2/14 外食レク

5. 健康管理

- ・快適な温度・湿度を保ち、定時で換気・消毒をして感染予防に努めています。
- ・毎朝、バイタル測定をおこない普段とは違う様子はないか観察をしています。

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	事故 6件（行政報告0件） ①転倒 12/23(14:50)居室より物音がし訪室すると床に四つん這いになっていた。 ②転倒 1/8(19:15)居室より歩行器を使用せず出てこられ、居室前の廊下にて保管している自身のリハビリパンツを取りに来られる。居室に戻られた後に物音がしたため訪室すると居室内で尻もちをつかれていた。 ③転倒 2/1(14:30)ダイルूमにて音がし確認すると、床に仰向けになり倒れていた。 ④転倒 2/4(AM1:35)物音がしたため訪室すると、居室内窓側の床に長座位になっていた。 ⑤転倒 2/9(13:30)居室内から物音がし訪室すると、居室内の椅子の前の床に座り込んでいた。 ⑥転倒 2/21(AM1:30)他入居者のトイレ介助中に、当該入居者の居室より物音がしたため訪室する。扉を背にし、床に長座位で座り込んでいた。 ヒヤリハット 3件 ①転倒・転落の可能性(1件) ②服薬事故のリスク(2件)
改善策	事故 ①【原因】歩行器の位置が遠かった。タンスの上に物が多くあり、掴まることができなかったと思われる。 【対策】歩行器の置き場を変更し、置き場が分かるよう床にテープを貼った。立ち上がりの際などに掴まれるようタンスの上を整理した。 ②【原因】時折歩行器を使用せず移動することがある。 【対策】本人が歩行器を使用せず移動していた場合は歩行器を渡し使用するよう促す。もしくはそばにて付き添う。 ③【原因】スタッフは他入居者の対応をしており背を向けていた。本人は居室に戻りたかったと思われる。食席の椅子とテーブルの位置が遠かったと思われる。 【対策】スタッフはフロア全体が見渡せる位置にいる。昼食後に居室に戻るか本人に確認する。着席時の姿勢、椅子とテーブルの位置を確認する。 ④【原因】TV横に置いてあった荷物を取ろうとしてバランスをくずしたと思われる。人感センサーは入り口側に設置していたため反応しなかった。(ベッドに端座位になり過ごされていることが多いため入り口側に設置している。) 【対策】居室内に手すりを設置した。 ⑤【原因】椅子の背と座面にタオルを敷いている。その上に滑り止めシートを敷いているが古くなっていたため滑りやすかったと思われる。 【対策】滑り止めを交換した。敷物をタオルではなくクッションに変更した。 ⑥【原因】入口側に人感センサーを設置していたが、ご自身で居室内の移動をされたりタンスの整理をされていた為センサーが鳴りっぱなしの状況だった。靴を履いておらず靴下で居室内を移動されていた為、滑った可能性がある。入り口側に手すりがなく掴まるところがなかった。 【対策】滑り止め付きの靴下を購入した。入り口側にポール型の手すりを設置した。

7. 地域への情報提供

今年も港北オープンガーデンに参加します。
開催期間:4/18(金)～20(日)、5/16(金)～18(日)
皆様のご来場をお待ちしております。

8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)